

## Ⅶ 平成 20 年度愛知県図書館サービス計画

平成 20 年 4 月 1 日

この計画は、愛知県図書館の基本理念に基づき、20 年度中に行う図書館サービスを示し、達成すべき数値目標を明らかにするものです。

はじめに、19 年度のサービス計画の達成状況を検証し、その上で 20 年度の計画を示します。

### 1 19 年度の図書館サービスの評価

#### (1) 祝日開館や様々な事業による来館者の増加

19 年度は、年間の入館者数が 68 万 9 千人で前年比 108%と 6 年ぶりの増加となりました。18 年度からの資料費の増額による資料の充実はもちろんですが、祝日開館による開館日数の大幅な増加、「花祭の里」を始めとする様々な企画事業展開などによるところも大きいと思われます。

#### (2) 資料収集

予算の大幅減額時に削減した全国ブロック紙、外国紙の一部を復活、購入図書冊数も昨年と同様 2 万冊台になりました。しかし、数値目標とした「利用者アンケート調査における『本と雑誌の量や種類』」は、昨年と同様 3.1 ポイントに止まり、目標の 3.2 ポイントを達成できませんでした。

#### (3) レファレンスサービス

来館者アンケート調査で「調査相談サービスを使ったことがある」とお答えいただいた方が 36.8%に達しました（前年 32.5%）。レファレンスが徐々に利用者の方々に認知されてきたものと思われます。利用件数でも、目標の 33,000 件を越え 35,756 件になりました。

#### (4) 市町村立図書館への支援

19 年度は初めて 2 人の職員を県内市立図書館に派遣し、運営に協力することができました。県内市町村立図書館等への貸出冊数は 15,062 冊で、目標の 13,500 冊を大きく上回りました。

#### (5) 図書館活動を支援してくださる県民の方々との協働

19 年度初めて、「おはなし会」と「資料補修」の分野で図書館サポーターを募り、活動をしていただくことができました。活動分野が限られ、参加者数もまだ少ないのですが、協働の第一歩といえるのではないのでしょうか。また、企画展示「花祭の里」で、北設地域の方々の協力をいただいたことも、一つの協働の形と考えています。数値目標としたサポーターの方々をつくるおはなし会への子どもの参加者数は、450 人で目標の 400 人を大きく超えることができました。

#### (6) 総括

19 年度の入館者アンケートでは、満足度をお聞きしたすべての項目で、平均ポイントが 3（「どちらかといえば満足」）を上回りました。来館者数、貸出冊数などの数値も増え、様々な企画事業にも多くの方々にご参加いただきました。数値目標も「利用者アンケート調査における『本と雑誌の量や種類』」を除き高い水準で達成できました。

しかし、愛知県図書館をご利用いただいている方々は、市町村立図書館等を通じてのご利用を含めて、まだ県民のほんの一部の方々にはすぎません。この点が今後の大きな課題と考えられます。

## 2 20年度のサービス計画の基本的な考え方

19年度の総括で示したように、さらに一層多くの県民の皆様に図書館を使っていただくことをめざします。そのためには、県民の皆様が必要とする資料・情報が図書館に集積されていることが重要です。図書館では、県民の生涯学習の中核施設として、調査・研究・教養などに関する資料や情報を幅広く収集することを基本とする、新しい「愛知県図書館資料収集方針」を定めました。これに基づき、県民の方々の需要、市町村立図書館の要望に応えられる資料収集を行っていきます。また、これまで県図書館とそのサービスをご存じなかった方々に、図書館を知り、利用していただくための様々な事業を展開します。

## 3 特に重点をおいて取り組むサービス

### (1) レファレンス（調査相談）サービス

利用者の皆様の情報要求と、図書館が収集・組織化した資料・情報を結びつけるのが、レファレンスサービスです。県図書館では、豊富な資料と多数の司書職員を生かすべく、レファレンスサービスを最も重要なサービスと位置付けてきました。20年度は、さらに一層情報提供力を高めるため、資料収集の充実と職員の能力向上に努めます。

### (2) 市町村立図書館への支援、県域全体へのサービス

県図書館は、県内全域の県民の皆様にご利用いただくことを目標としています。このためには、市町村立図書館を通じてご利用いただく方へのサービス（資料の提供、レファレンス）が重要であり、そのことが市町村立図書館への支援の最も大きな部分でもあります。市町村立図書館を通じた資料提供を伸ばしていくため、サービスを知っていただくとともに、利用しやすい体制を作っていきます。

### (3) 図書館の魅力や使い方を県民の皆様を知っていただく活動

図書館を知っていただき、利用していただくため、様々な事業を展開します。一つは、これまで図書館をあまり利用されなかった方々に図書館に目を向けていただくため、企画展示やそれに関わる講演会などを実施します。今一つは、図書館をより一層理解していただき、上手に利用していただくための館内ツアーや図書館の利用講座の実施です。また、館報等の印刷資料も事業と組み合わせて活用していきます。

## 4 数値目標

### (1) レファレンス件数

18年度当初は3年計画で33,000件をめざしましたが、19年度でそれを大きく超えることになりました。20年度は、目標をさらに高くし38,000件（前年比106%）をめざします。

### (2) 県内市町村立図書館等への貸出冊数

市町村立図書館等への貸出冊数も20年度の目標14,000冊に19年度に到達しました。20年度は16,000冊（前年比107%）をめざします。

### (3) 図書館の様々な催しへの参加者数

19年度は、講演会、おはなし会、上映会、探検ツアー等参加者数が数えられる催しに約2,200人の方にご参加いただきました。20年度は、参加者2,600人をめざします。

### (4) 来館者アンケート調査における「本と雑誌の量や種類」

この項目は、18、19年度とも目標を達成できませんでした。資料収集は、利用者が最も重視する事柄であり、したがって満足度のハードルも高くなります。この項目で満足度を高めるのはかなり難しいと思われます。しかし、図書館としても最も基本的な事項であり、20年度も前2年と同様3.2ポイントを目標とします。